

## 議事録（要旨）

会議名称	第5回 葛飾区リサイクル清掃審議会（書面会議）
意見確認者	（審議委員 10名） 崎田会長、朝倉会長職務代理者、庄司委員、佐々木委員、谷本委員、谷茂岡委員、大沢委員、杉野委員、秋山委員、大山委員
配付資料 （郵送にて配付）	一般廃棄物の発生抑制を最優先とした循環型社会について（答申案）

### 1. 書面会議の経緯

第5回葛飾区リサイクル清掃審議会を令和2年4月10日（金）に実施する予定であったが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止のため、会を設けての実施を取りやめ、書面での意見確認を行うこととした。

意見確認に際しては、答申案を郵送にて送付し、以下の審議事項について各委員に意見を問い、令和2年5月1日（金）に意見集約を行った。

### 2. 審議事項

①「一般廃棄物の発生抑制を最優先とした循環型社会について（答申案）」に対する意見がないか。

### 3. 審議結果

各委員の意見を取りまとめたものを「別添1」に示す。

指摘委員	修正内容(ご意見)	修正方針	備考
A委員	「家庭ごみ」と「家庭系ごみ」の単語の混在が見られる。	表記を「家庭ごみ」で統一する。	
A委員	事業系ごみ年間総排出量について、「約3,000t減ってきていますが、近年の排出量は横ばいです。」と追記する。	指摘通り修正する。	
A委員	「地球温暖化や気候変動対策といった環境問題」→「気候変動対策や天然資源の有効活用といった環境問題」に修正する。	指摘通り修正する。	
A委員	農林水産省が推計した食品ロス量について、平成28年度実績が記載されているが、最新の平成29年度実績が公表されているので、最新のものに修正する。	平成29年度実績を記載する。	
A委員	「事業者や地域団体主催のフードドライブ運動」とあるが、「地域団体などが事業者に呼びかけるフードドライブ運動に対する」ではないか。	事業者が主催となる場合もあるため、元の標記のままとする。	
A委員	資源類の分別推進に関する新たな取組の提案について、「子ども会でプラスチックを集める」ということが一番に記載されている。しかし、子ども会で回収できる量はそれほど多くなく、この提案が一番に書かれているのは違和感がある。そのため、提案の順番を入れ替えたほうがよいのではないか。	記載の順番を変更し、容器包装プラスチック以外の製品プラスチックの資源化に関する意見を最初に記載する。	
A委員	資源類の分別推進に関する新たな取組の提案の一つとして、事業者の店頭回収は重要であるため、「製品に再生するプラスチック製容器包装の事業者自主回収や店頭回収を実施している場合の消費者の参加に向けた情報発信や資源分別に向けた丁寧な情報提供」という項目を追記したらいかか。	「プラスチック容器包装については、事業者の自主回収による製品の再生利用や店頭回収を実施している店舗など、消費者が参加しやすくするための情報提供が必要である。」と追記する。	
A委員	審議会の提言のうち、「ごみと資源の適正排出を徹底し、」の前段に「○事業者の自主回収や店頭回収を含めて、ごみと資源の適正排出を徹底し、」とするのはどうか。	指摘通り修正する。	
A委員	事業者に対する提案の一つとして、バイオプラスチックや生分解性プラスチックなどバイオプラスチックの機能や品質基準に対する規格統一を求める方策等について、23区で国や事業者に働きかける協議の場を作る必要がある旨を追記する。	「○事業者に対し、バイオプラスチックや生分解性プラスチックなどの機能や品質基準に対する規格統一を引き続き求め、統一された規格の周知徹底や遵守を図っていく必要があります。」と追記する。	
A委員	家庭ごみの有料化に係る意見のうち、「有料化は、ごみ減量の手段として一番有効ではないか」という部分の前段に、「ごみ発生抑制への意識喚起やごみの排出量に応じた費用負担の公平性など踏まえ、有料化は、」と追記する。	指摘通り修正する。	
A委員	「特に小規模事業では資源物の45%が廃棄されていると推計されています。」を追記	指摘通り修正する。	
A委員	(参考)として、国の第4次循環型社会形成推進基本計画の目標値(一人一日当たりのごみ排出量)を掲載するか検討してほしい。	本区では「区民一人一日当たりの家庭ごみ量(資源を含めていない)」を目標値として使用しているため、掲載しない。	
A委員	また、食品ロス削減推進基本方針に基づいた自治体の基本方針と位置付けられる記載の明確化も検討いただきたい。	指摘の文言について「令和元年5月に公布された食品ロスの削減の推進に関する法律において、都道府県及び市町村は、食品ロスの削減の推進に関する基本方針を踏まえ、食品ロス削減推進計画を策定することが求められています」と追記する。	

指摘委員	修正内容(ご意見)	修正方針	備考
A委員	資源類の分別推進に係る項目において、プラスチックに関する記述の後、「なお、紙に関してはペーパーレス化も進んでいます、脱使い捨てプラスチックを推進し紙への代替が進む傾向があることから、今後は特に雑紙などの資源化が重要になると考えられます。」と追記する。	指摘通り修正する。	
C委員	「家庭系ごみ」は葛飾区としての定義であることを明記すべき。	「本答申では」を追記する。	
C委員	「生活系ごみと資源の処理の流れのフロー図」において、「中央防波堤外側埋立処分場及び新海面処分場」のあとに「自然還元」を追加する。	フロー図の見やすさを考慮し変更なし。	
C委員	ごみの収集・運搬、中間処理、最終処分のそれぞれの処理主体を追加する。	東京都・清掃一組・葛飾区の役割分担を本文中に記載する。	
C委員	食品ロス削減に関する新たな取組の提案に「食べ残しが出る、開封もしないで捨てるなどのごみを出さないように衝動買いを控える。」を追記する。	「食べきれない量の食材や、未開封のものを捨てるなどしないように、衝動買いを控えるよう啓発を行うのはどうか。」を追記。	
C委員	食品ロス削減に関する事業者に対する取組の提案として「小売店や外食店などの事業者が食品ロス削減に取り組む」と記載しているが、「小売店や外食店など事業者が食品ロス削減に取り組むことに対して、消費者側はそうした事業者の取組を消費者に対するサービスの低下と捉えるような意識をなくすなど」に修正する。	「事業者の意図と消費者の意識にずれが発生しないよう、取組みを推進する必要がある。」を追記	
C委員	「おわりに」に、「なお、本計画の具体的な施策を進めるにあたっては、葛飾区を含めて23特別区のごみ処理の仕組みが3層構造であることを踏まえ、他の22区と連携して東京23区清掃一部事務組合がその役割を担う中間処理以降の施策との一体性を図れる方策を考える必要がある。」を追記する。	3層構造については、ごみ処理フロー部分に記載しており、重複してしまうため、「おわりに」には記載しない。	
F委員	区民・事業者の役割をわかりやすくしてほしい。	審議会からの提言をすべて太字に変更し、見やすくする。	
H委員	「資源量の減少については、ペーパーレス化による紙類の減少や缶類の軽量化による減少などの物理的な要因等が考えられます」と記載があるが、ペーパーレス化による紙類の減少の表現があいまいである。	紙類の原料をペーパーレス化に限らず、「～が要因の一つと考えられる」に変更する。	
H委員	「命をいただく大切さを次の世代にきちんと伝えることが重要」→「人間が命をつなぐために感謝して食べ物の命をいただく大切さ～」を追記する。	「人間が命をつなぐために感謝して他の生物の命をいただく大切さ～」を追記する。	
H委員	学校給食の食品ロス削減について記載してほしい。	「日々の学校給食や葛飾教育の日といった場における食品ロス削減を目指す」を追記する。	
H委員	かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会の名称に「」を付ける。	指摘通り修正する。	
H委員	生ごみの減量手法を明確にするため、「生ごみの減量(水切り・使い切り・食べきり)」を追記する。	「(水切り・使いきり・食べきり)」を追記する。	
H委員	マイバック普及啓発について、「事業者は消費者としての区民に、マイバックを持参することを要望することも必要です。」に修正する。	「事業者から消費者へマイバックを持参するように呼びかけをしっかりと行うこと」と修正する。	
H委員	環境学習や出前講座の主体として、区職員だけでなく、「区民の代表としての「かつしか3Rサポーターの会」」を追記する。	「区職員や「かつしか3Rサポーターの会」」を追記する。	

## 【別添1】

指摘委員	修正内容(ご意見)	修正方針	備考
H委員	「区民や事業者に平常時から情報提供を進め、」 →「区民や事業者に平常時から適切な情報を確実に提供し、」に修正する。	指摘通り修正する。	
I委員	年号の表記を統一すべき。	和暦で統一する。	
I委員	外来語や専門用語には但し書きを記載してほしい。	各ページの下に注釈を作成する。	